

令和7年度第1回瑞穂町地域保健福祉審議会

「地域保健福祉計画専門分科会」会議録

日時：令和7年7月1日（火）

午後2時～午後3時

場所：瑞穂町ふれあいセンター 大会議室2・3

会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 委員委嘱及び任命
- 4 委員自己紹介
- 5 分科会長・副分科会長の選出
- 6 議題
 - (1) 第4次地域保健福祉計画について
 - (2) 第4次地域保健福祉計画の進捗状況について
 - (3) 第5次地域保健福祉計画策定のためのアンケート調査 調査報告書について
 - (4) 第5次地域保健福祉計画について
 - (5) その他
- 7 閉会

出席者【委員】

石川委員	川鍋委員	村井委員 (オンライン)	川口委員	森泉委員
小作委員	島崎委員	加村委員	荻野委員	

欠席者【委員】

辰田委員	中野委員
------	------

出席者【事務局】

青木福祉課長	上出福祉推進係 長	Next-i 株式会 社 中西
--------	--------------	--------------------

公開・非公開の別

公開

傍聴者

2名

会議録

1 開会

事務局より配布資料の確認。

- (1) 次第
- (2) 【資料1】瑞穂町地域保健福祉計画専門分科会委員名簿
- (3) 【資料2】瑞穂町第4次地域保健福祉計画概要版
- (4) 【資料3】瑞穂町第4次地域保健福祉計画の進捗状況について
- (5) 【資料4】瑞穂町第5次地域保健福祉計画策定のためのアンケート調査 調査報告書
- (6) 【資料5】瑞穂町第5次地域保健福祉計画策定スケジュール
- (7) 瑞穂町地域保健福祉審議会条例(平成17年3月7日条例第3号)
- (8) 瑞穂町地域保健福祉審議会条例施行規則(平成17年6月23日規則第34号)

2 あいさつ

(事務局 福祉課長)

皆様こんにちは。本日は暑い中、瑞穂町地域保健福祉計画専門分科会にご出席いただき、誠にありがとうございます。瑞穂町地域保健計画専門分科会ですが、現行計画が令和7年度で期間満了になることから、地域保健福祉計画策定のため、健康づくり推進専門分科会と地域保健福祉計画専門分科会を立ち上げ、健康部門と地域福祉部門、それぞれの内容についてご検討いただくものとなります。第4次計画の概要版につきましてはお手元に配布しておりますが、第5次計画策定についてのいわゆる作業部会という位置づけとなります。なお、児童部門につきましては令和6年度に既に瑞穂町こども計画、また障害・高齢部門につきましては、令和8年度中に各計画の策定をする予定です。計画の体系については後ほどご説明いたします。

3 委員委嘱及び任命

(事務局 福祉推進係長)

委嘱状及び辞令書は時間の関係上、机上配布とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

4 委員自己紹介

(委員及び事務局 自己紹介)

5 分科会長・副分科会長の選出

(分科会長に石川委員、副分科会長に川鍋委員が選出)

(石川会長)

ただいま分科会長に指名されました、石川でございます。実は、分からない点も多いです。素人なりに皆様にご協力いただき、専門家である皆様のご意見を集約させていただければと思います。皆様のお力をいただいて、良い会にまとめていきたいと思いますので、どうぞご協力をお願いいたします。

6 議 題

(1) 第4次地域保健福祉計画について（資料2）

（石川会長）

それでは、本日の議題に入らせていただきます。議題（1）第4次地域保健福祉計画について事務局から説明をお願いいたします。

（事務局 福祉課長）

（資料に基づき説明）

（石川会長）

事務局の説明が終わりました。何かご質疑がございますでしょうか。

次に議題（2）第4次地域保健福祉計画の進捗状況について事務局から説明をお願いいたします。

(2) 第4次地域保健福祉計画の進捗状況について（資料3）

（事務局 福祉課福祉推進係長）

（資料に基づき説明）

（石川会長）

事務局の説明が終わりました。何かご質疑がございますでしょうか。

次に議題（3）第5次地域保健福祉計画策定のためのアンケート調査 調査結果について、事務局より説明をお願いいたします。

(3) 第5次地域保健福祉計画策定のためのアンケート調査 調査報告書について（資料4）

（事務局 福祉課福祉推進係長）

（資料に基づき説明）

（石川会長）

事務局の説明が終わりました。何かご質疑がございますか。今の説明ですが、資料のどの箇所と関連しているかを一緒に説明いただけると、わかりやすいと思います。今後はよろしくをお願いいたします。

次に議題（4）第5次地域保健福祉計画について事務局からご説明をお願いいたします。

(4) 第5次地域保健福祉計画について（資料5）

（事務局 福祉課福祉推進係長）

（資料に基づき説明）

今後の進め方などについて、Next-i の中西様より補足の説明をいただければと思います。

（Next-i：中西）

中西と申します。よろしくお願いいたします。まずはスケジュールの通り、第4次計画の進捗と検証をいただいて、昨年度の調査結果の分析と併せて、計画策定を進めて参りたいと考えております。自助、互助、共助、公助からなるものということですが、健康づくりというものは自助で賄えるものかと思いますが、残りの互助、共助、公助に関しては、

なかなかそうはいきません。そのため、昨年度のアンケート結果や、庁内での第4次計画の検証を含め、改めて第5次計画に向けて検討しながら作っていきたいと考えております。

(石川会長)

それでは、事務局の説明が終わりました。何かご質疑等ございますか。ないようですので、次に議題（5）その他について事務局説明お願いいたします。

(5) その他

(事務局 福祉課福祉推進係長)

この専門分科会ですが、本日を含めて4回を予定しております。本来であれば皆様のご都合を伺ったうえで決めるべきものですが、スケジュールの関係上、予めこちらで日程を決めさせていただいております。ご了承ください。

また今後の流れですが、事務局で第4次計画の令和3年度から令和6年度に係る取り組み状況、総括のような調査を各担当課に投げかける予定です。次回の9月30日の専門分科会ではその結果をお示しできればと考えております。よろしくお願いします。

(石川会長)

事務局の説明が終わりました。何かご質疑等ございますか。島崎委員、お願いします。

(島崎委員)

今回、資料が当日配布で読み込めなかったため、可能であれば事前に配布いただきたいです。そうしていただければ、読み込みができますし、質疑なども考えたうえで参加したいと思います。

(事務局 福祉課福祉推進係長)

申し訳ありませんでした。2回目以降は、事前に配布させていただきます。

(石川会長)

他にご質疑ございますでしょうか。森泉委員、お願いします。

(森泉委員)

アンケートの内容が多岐にわたり、大変興味深いと思いました。前回令和元年度に実施していますが、その時は同じ条件の対象者で500件の件数だったのに対し、今回は倍以上の件数ですが内容については全く違うものなののでしょうか。前回と比較ができると、特徴などが見えてくると思ったのですが、どうでしょうか。また、無作為抽出で色々な年齢層の方を対象にされたと思うのですが、半分近くが65歳以上の回答だったということを受けて、前回も同じような年齢層の割合だったのか気になりました。今、手元に前回と比較できる資料がないので、そういう見方ができるものと良いと思いました。何か前回と比べて今回の調査で特徴的な内容があれば教えていただききたいと思いました。

(事務局 福祉課福祉推進係長)

ありがとうございます。アンケート調査報告書の19ページをご覧ください。年齢を尋ねる設問の回答をグラフで表しております。例えばこのグラフの18～19歳の所に、0.6%と記載があり、その横にかっこ書きで1.6とあります。このかっこの中の数字が前回の結果です。

(森泉委員)

ありがとうございます。全体を通して、かっこ書きの部分が前回の結果になるというこ

とで、特徴などもそこから読み取れるということですね。

(事務局 福祉課福祉推進係長)

5年前から継続している設問に関してはそのような記載になっております。

(石川会長)

森泉委員、よろしいでしょうか。他に質問はございますか。

それでは、これですべての議題が終了しましたので、進行役を事務局に返したいと思えます。ご協力、ありがとうございました。

(事務局 福祉課福祉推進係長)

ありがとうございました。村井委員、何か全体を通してお話ありますでしょうか。

(村井委員)

はい。まず健康に関しては、健康日本 21（第三次）がでているので確認できたらいいと思いました。

次にアンケートについては、これまでの計画の評価としても、今後の計画策定の根拠としても使うことができ、計画策定においてかなり重要なカギになります。大事なのは、アンケートの設問と回答内容が各計画のどこと連動しているか分かるということです。一覧のようなものを作っておく必要があります。例えばこの回答によって、この取り組みが推進されたと言えると、アンケートの結果が計画の評価軸になります。また、アンケート結果と計画の整合性を感覚論で整理するのではなく、客観的な関係性をリストアップすることで示せると良いと思います。そのアンケートの状況が定点観測できれば、それが成果評価になります。目標に対して、成果が上がったかどうかの評価指標にもなっていきます。一部の計画では、アンケートの結果がどのくらいになることを目標として設定するかという、目標指標にもなってくると思います。このように住民の声を計画の中に反映させ、住民の声を計画の目標値として位置付けるということが大変重要だと思いました。

7 閉会

(事務局 福祉課福祉推進係長)

次回の専門分科会ですが、9月30日を予定しております。通知は事務局の方からさせていただきます。また資料につきましても、事前に配布しますので、よろしくお願いいたします。これで本日の専門分科会を終了します。ありがとうございました。